

事業所名

凜 近江八幡ひなた

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

30 日

法人（事業所）理念	株式会社 奏は、「ノーマライゼーション」の理念を基に、障がいの有無に関わらず、総ての人が特別視されることなく、「基本的な人権・権利を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができる」地域社会の実現に向け努力していきます。		
支援方針	子どもたちが友だちや大人との集団での生活の中で、安心して過ごせる場所であることを目指し、子どもたちの個性や気持ちを大切に、一人ひとりに合った支援をします。		
営業時間	9 時 分から 18 時 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様と利用者様の健康状態について、丁寧な情報共有を行い、安心してご利用できるようにします。 ・ご利用時には体温測定を行います。始まるの会で健康チェックを行い、顔色やサインを見て心身の異変に気付けるように観察を行います。 ・利用者様の食事、着脱、排泄など基本的な生活習慣および、主体的な生活を送っていくために必要な課題を保護者様と共有し、できることを増やしていただけるように支援します。 ・てんかん発作が起こった場合、本児の様子確認・時刻・安全の確認を行い、保護者様と連絡を取らせて頂き、必要時は救急車要請等の対応を行います。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊びを通して身体動かしたり、介助時や手引き歩行移動等を出来る限りご利用者様主体で動ける機会を増やし、身体機能を高めていただけるように支援します。 ・視覚障がい者様が数名ご利用されているので、聴覚、触覚など様々な感覚をとまなう活動を、素材を工夫しながら取り入れ、取り組むようにします。 ・トレーニング活動等を通じて、日常生活に必要な姿勢保持や運動動作を活動や遊びながらの習得に向けての支援をします。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が活動の始めと終わりがわかるように、始まるの会では歌を取り入れたり、終わりの会では絵本の読み聞かせを取り入れています。それ以外にも、絵カード2枚を用意し、補助手段を併用しながら、利用者様に選択してもらい活動の流れや、お当番を通じて役割を理解し、学ぶ機会を作り安心して行動できるように支援します。 ・利用者様ごとの行動特性に配慮しながら、状況に応じて必要な行動ができるように、課題を細かく段階設定し、できることを増やしていただけるようにします。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が利用者様からの発信を注意深く観察し、うけとめていくことを大切にします。その中で、視線、表情、身振り、声など、様々な手段を使って自分から主体的に関わろうとする意欲を育み、人とやりとりする楽しさを感じていただけるように支援します。 ・状況に合った言葉や行動を声掛け等で利用者様に伝え、表現する事の楽しさを伝えながら習慣化出来るように関わります。 ・利用者様同士の関わりの中で、コミュニケーションや言葉数が増えるように支援します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を褒めてもらったり、認めてもらう経験を通して、自己肯定感を育てていきます。その中で、いろいろな個性をもった他者への理解を深め、大人に対してだけでなく、利用者様同士の関わりへと、対人関係を広げていただけるように支援します。 ・集団での活動を通して、社会で生活する上で必要なルールを身に付けられるように支援します。 	
家族支援	保護者様と利用者様の状態や課題を丁寧に情報共有しながら、困りごとがあれば相談援助を行い、解決に向けて一緒に考えていきます。また、家庭でできることがあれば、助言を行います。	移行支援	入学、転園など、環境に変化があった時には、必要に応じて進路先に情報提供を行い、次の環境でも安心して生活が送れるように支援します。
地域支援・地域連携	利用者様に関する機関（学校、相談支援事業所、他サービス事業所、医療機関など）と情報共有を行い、必要な支援を行えるようにします。	職員の質の向上	毎月、研修を行い、知識を深め、専門性を高めていながら支援が行えるようにします。また、必要に応じて、外部の研修に参加します。
主な行事等	季節に応じた行事（お正月遊び、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマスなど）、避難訓練（年2回）。		